

第40回児童生徒 読書感想文 コンクール



今年度で40回目を数える児童生徒読書感想文コンクールに、今回も優秀な作品が数多く寄せられ、25点が入賞作品に選ばれました。各賞を受賞した児童・生徒の皆さんを紹介します。また今月から、各部門の最優秀作品を順次紹介していきます。

※コンクールの審査対象は小学校3年生以上。

■小学校3年生の部 最優秀賞 あきらめないことは大切だ 弟子屈小学校 金澤 百香さん

私は「なないろ山のひみつ」というお話を読みました。この本を読んだとき、かっけは題名の「なないろ山のひみつ」とはなんだろう、と思ったからです。

一番心にのこったのは、さちという女の子が、たいへんになった森を一人で助けに行く場面です。

さちはおばあちゃんにたのまれて、じいさんぎつねに会いに行く。ちゅう色々な光や、いじわるな動物たちにひどい目にあわされました。しかしさちは決して、あきらめなかったのです。

そして、じいさんぎつねに会い、大好きなおばあちゃんに教えてもらったこともり歌をさいこの力をふりしほって歌い続け、山の宝の石をもとにもどし山を助けたのです。

私は、この本からあきらめない事はたいへんだけれど、大事な事だと思いました。

私にも、そのようないけんがあります。一つ目は、チャレンジラン(持久走)で走り続けて、つかれてへとへとになった時です。ですが、まだ走り続けている人がいたので、私も(まだがんばれるかな)と思い、走り続けました。へとへとになったけど最後まであきらめず走り終わったら、気持ちよかったです。

やはり、あきらめない事は、大変でつらいことだとわかりました。二つ目は、ピアノの発表会でひく曲を練習していた時です。先生が私のレベルにあわせて選んでくれた曲ですが、何度練習しても同じ所でつ

まずいてしまいました。私にはこの曲が大変むずかしかったので、なかなかできるようになりませんでした。

でも、ピアノの先生が、「もちゃん上手だね、だいじょうぶだよ。」とほげましてくれましたので、私もあきらめないで何度も練習しました。

発表会当日、ドキドキしていましたが、「いっぱい練習したからだいじょうぶかな。」と思って、がんばってひいたらひけました。

ひけなかった曲が、あきらめないで練習したら、ひけるようになったのです。さちも、ちゅうであきらめないで、さい後までがんばったから、みんなを助けることができたと思いました。

このように力をふりしほって、最後まであきらめない事を私は行ってきました。大変な事ですが、これからもむずかしいことがあってもあきらめないで、がんばっていきます。

さちのよつこ…。
(書名)「なないろの山のひみつ」
征矢かおる／著

(寸評) あきらめずにがんばりぬくことは、大切なことですが大変でつらいことですね。マラソンでへとへとになった時、何回練習しても曲が弾けなかった時、あきらめずにがんばった百香さんだからこそ、ひどい目にあいながらもがんばっている主人公の心がよく分かったのだと思います。あきらめずにがんばったからこそみんなを助けることができたさち。その喜びは百香さんにもよく分かったことでしょう。この本を読むことで、あきらめずにがんばりぬくことの大切さを、もう一度考えることができたのではないのでしょうか。これからも、自分のことと比べながら本を読み、考えを深めてください。

小学校の部 6年生

参加数 66点

▶最優秀賞/益子 咲希さん (弟子屈小)

▶優秀賞/吉田 龍騎君(弟子屈小) 新木 七海さん(弟子屈小)

選んだ本
虐待を受けた犬ベティ

小学校の部 5年生

参加数 68点

▶最優秀賞/中村 諒さん (美留和小)

▶優秀賞/齋藤 力君(川湯小) 保坂 凱風君(奥春別小)

選んだ本
子ども伝記全集ヘレンケラー

小学校の部 4年生

参加数 50点

▶最優秀賞/延原 愛莉さん (弟子屈小)

▶優秀賞/沢原 美義さん(弟子屈小) 守屋 真白さん(奥春別小)

選んだ本
ココロ屋

小学校の部 3年生

参加数 59点

▶最優秀賞/金澤 百香さん (弟子屈小)

▶優秀賞/南雲 空君(美留和小) 高橋 菜奈さん(昭栄小)

選んだ本
なないろの山のひみつ

■小学校4年生の部 最優秀賞 自分のココロを大切に 弟子屈小学校 延原 愛莉さん

私はこの本を読んで、「人間のココロには色々なココロがあるのだな」と思いました。人間のココロには、どんなかん「ココロ」、せんなさいな「ココロ」、強い「ココロ」や弱い「ココロ」、ふわふわした「ココロ」、もやもやした「ココロ」などの色々なココロがあります。

主人公のひろきは、友達と仲良しですが、しかし、すぐにケンカをしてしまいます。またひろきは学校が大好きな男の子です。ある日ひろきは、「ココロをいれかえなさい。」

とみか先生に言われた時に、長い長いうかで、ココロ屋と出会います。ココロ屋は、「ココロを取りかえてくれます。ひろきかえてもらいました。優しいココロになったひろきは、前のようにすくおこり出たり、らんぼつな言い方をしたりしなくなりました。でも、だんだんうまくなりなりました。ひろきは優しい「ココロ」に不安を感じました。ひろきはこの優しい「ココロ」は、きよくたんずきると思ったのです。

やさしくて良く思われることもあるけれど、やさしすぎるせいで、言いたいことを言えずにいやなことでもがまんしなければならなくなっていたのです。また、やさしすぎたせいで人をおこらせて、きらわれることもありました。ひろきは、「そんな優しいなんていやだ」と思い、優しい「ココロ」を素直な「ココロ」に交かんしました。今度は素直すぎて思ったことをはっきり言葉に出してしまい、友達をきずつけてしまいました。

た。ひろきは次にあたにかい「ココロ」を交かんすることになりました。ひろきはあたたかい「ココロ」に大満足でした。しかし、あたたかい「ココロ」は、いつでも、どんなときにも、どんな人にも、優しく親切にしてあげたいと思います。でも、ひろきのあたたかい「ココロ」では、世の中の人たちをあたためるだけのあたたかさが足りないのです。とても悲しく残念な気持ちになりました。最後にひろきは、「自分の「ココロ」を取りもどしました。ひろきは自分がなりたいような人になれるよう、自分の「ココロ」を育てることにしたのです。

高等学校の部

参加数 101点

▶最優秀賞/藤江 弥生さん (弟子屈高2年)

▶優秀賞/杉山 明日香さん(弟高2年) 若宮 葵さん(弟高1年) 坂東 もみじさん(弟高1年)

選んだ本
永遠の0

中学校の部 3年生

参加数 63点

▶最優秀賞/大井 美侑さん (弟子屈中)

▶優秀賞/山崎 美玖さん(弟子屈中) 一ノ戸 真由さん(弟子屈中)

選んだ本
かあちゃん

中学校の部 2年生

参加数 55点

▶最優秀賞/芝田 遥夏さん (弟子屈中)

▶優秀賞/山本 彩香さん(弟子屈中) 北崎 加寿砂さん(弟子屈中)

選んだ本
大草原の小さな家

中学校の部 1年生

参加数 57点

▶最優秀賞/藤田 佑大君 (弟子屈中)

▶優秀賞/石川 瑠望さん(川湯中) 江上 瑞希さん(弟子屈中)

選んだ本
ディズニーおもてなしの神様がしてくれたこと

(寸評) 人間にはいろいろなココロ(心)がある、「強い心や弱い心、繊細な心や鈍感な心、など生きていくからこそ抱える人間の心の有り様やその成長などに目が向けられた本書に、自分の生活や心情を照らし合わせながら素直に感想文を書くことができていました。本を通して自分自身と向き合っている様子が、目に浮かぶようです。

(書名)「ココロ屋」
梨屋 アリエ／著